

『産学官連携による地域の人材育成』

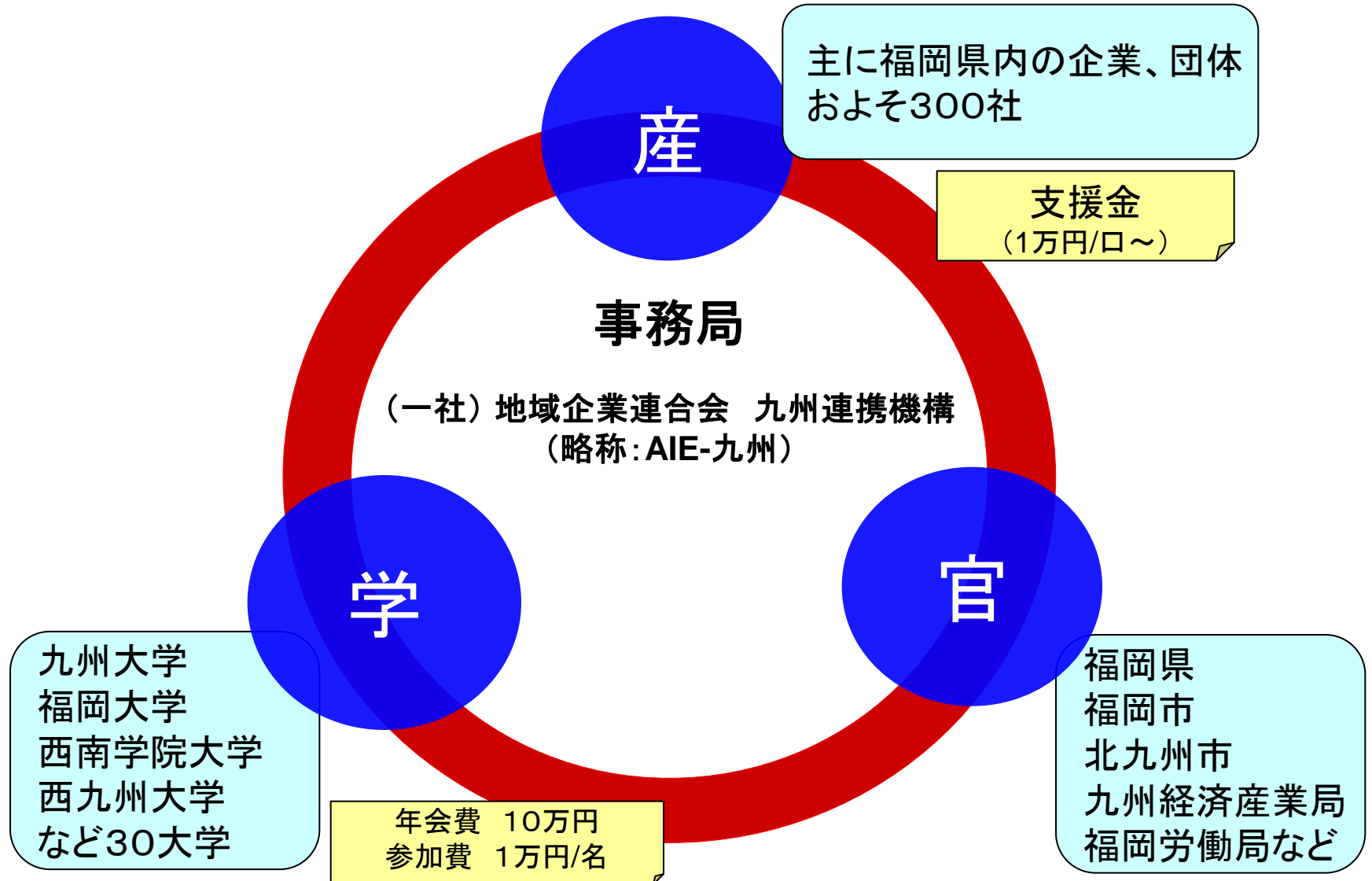
平成28年10月18日(金)

一般社団法人九州インターンシップ推進協議会

事務局次長 崔 耿美

九州インターンシップ推進協議会とは？

産学官でインターンシップの推進を行う地域コンソーシアム



九州インターンシップ推進協議会とは？

～加盟大学～ 30大学

九州大学・九州工業大学・福岡教育大学・北九州市立大学・西南学院大学
福岡大学・九州産業大学・福岡県立大学・久留米大学・筑紫女学園大学
中村学園大学・福岡女学院大学・九州国際大学・九州共立大学・九州女子大学
西南女学院大学・福岡女子大学・福岡工業大学・近畿大学産業理工学部
福岡国際大学・久留米工業大学・九州歯科大学・日本経済大学・産業医科大学
西九州大学・西日本短期大学・福岡工業大学短期大学部
福岡女学院大学短期大学部・香蘭女子短期大学・佐賀女子短期大学

～受入企業～ 540社登録（平成28年5月19日現在）

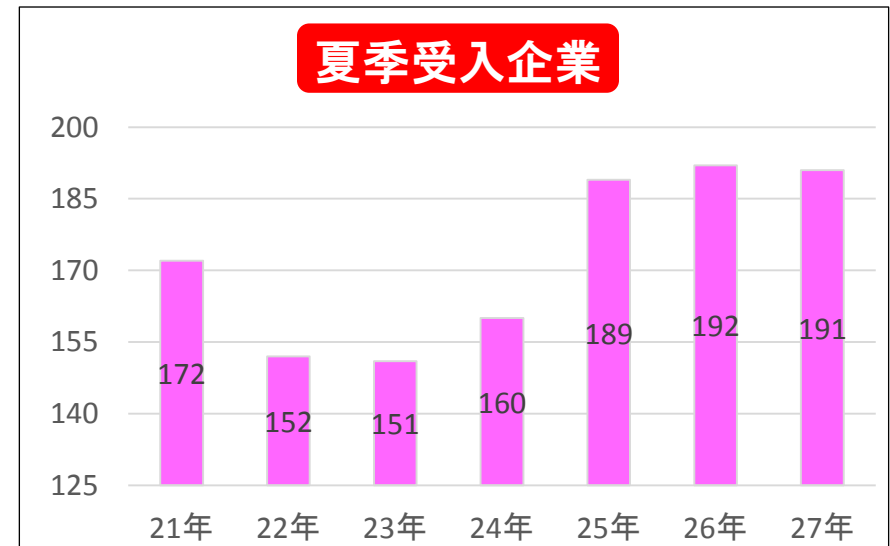
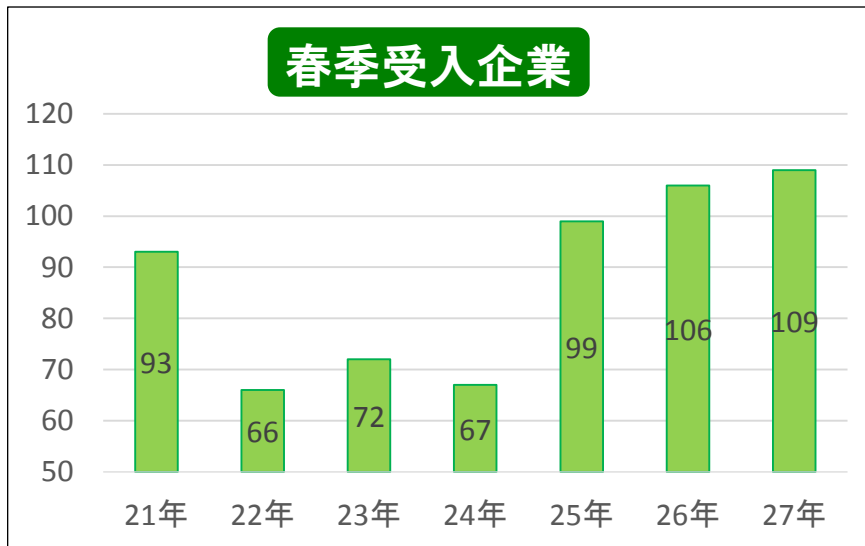
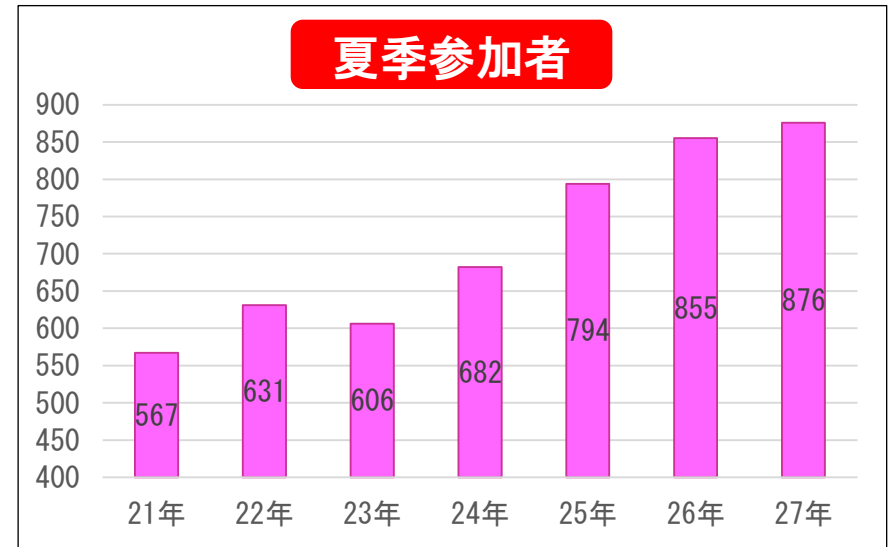
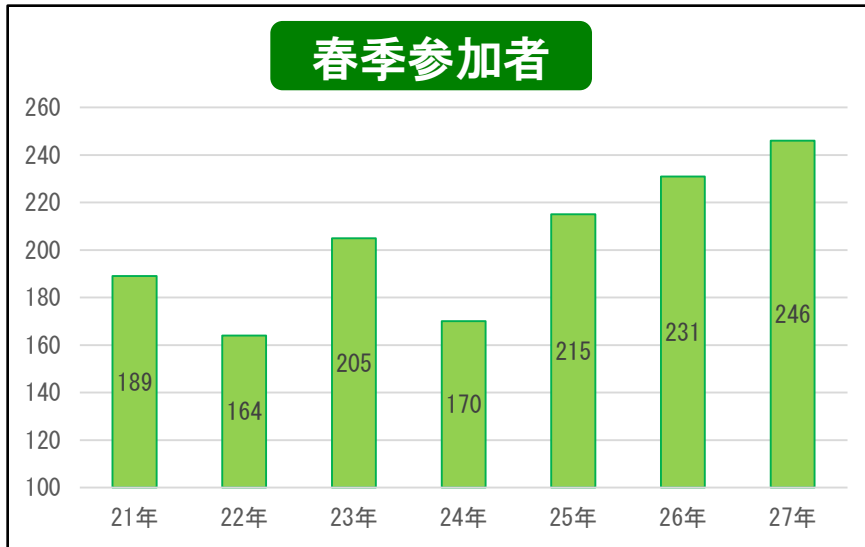
福岡法務局・福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市・久留米市・筑紫野市・古賀市・篠栗町
九州電力(株)・(株)西日本シティ銀行・西部ガス(株)・(株)九電工・西日本鉄道(株)
TOTO(株)・NTT西日本・コカコーラウエスト(株)・福岡トヨタ自動車(株)・(株)谷川建設・(株)ポーラ
福岡商工会議所・エフコープ生活協同組合・植田会計事務所・(株)柴田建築設計事務所
福岡空港ビルディング(株)・シャボン玉石けん(株)・(株)ティーアンドイー・(株)ハウインターナショナル
のこのしまアイランドパーク・鳥栖商工会議所・(株)平山旅館・(株)おおやま夢工房
(一財)カンボジア地雷撤去キャンペーン・NPO法人九州海外協力協会・NPO法人九州プロレス etc・・・

これまでの経緯

- | | |
|----------|--|
| 平成9年9月 | インターンシップに関する基本的認識及び今後の推進方策を明らかにするため、通産省・労働省・文部省(いずれも当時)が「インターンシップ推進に当たっての基本的考え方」を公表。 |
| 平成10年 | インターンシップの試験的な実施
(春季) 参加大学:4大学、参加者:31名、受入企業:11社
(夏季) 参加大学:4大学、参加者:44名、受入企業:21社 |
| 平成11月11日 | 第1回九州地域インターンシップ推進連絡協議会開催 |
| 平成12年8月 | 福岡県インターンシップ推進協議会設立 |
| 平成14年 | 本格的なインターンシップを開始
(夏季) 参加大学:20大学、参加者:243名、受入企業:84社 |
| 平成23年5月 | 名称を九州インターンシップ推進協議会へ変更 |
| 平成26年4月 | 経産省・厚労省・文科省が「インターンシップ推進に当たっての基本的な考え方」を改訂。 |
| 平成27年 | 中期実践型インターンシップの試験的な実施(春季・夏季) |
| 平成27年8月 | 第12回九州地域戦略会議夏季セミナー第2分科会 事例発表 |
| 平成28年 | 本格的な中期実践型インターンシップを実施(春季・夏季) |
| 平成28年8月 | 法人格を取得し一般社団法人九州インターンシップ推進協議会を設立 |

参加者・受入企業数の推移

平成25～27年は1,000名以上の学生がインターンシップを実施



インターンシップ実施スケジュール

事前研修と事後研修でインターンシップの有効性を高めている

(春季)	1月中旬	2月上旬	2月～3月	4月中旬
(夏季)	6月中旬	7月下旬	8月～9月	10月中旬



事前研修会

- ・当協議会が主催し、当協議会学生スタッフ(10大学・15名)が運営
 - ・インターンシップに参加するにあたっての心構え・マナー等を指導
- ※インターンシップの目的意識を形成することが重要



事後研修会

- ・主催、運営は事前研修会と同様
 - ・インターンシップの振り返り、経験を今後どう活かすかの指導、社会人との交流
- ※インターンシップを通して何に気づき、どう活かすかの整理が重要

実践例 [1] 通常型（短期仕事理解・体験型）

約2週間（実働10日間）のインターンシップ

福岡を中心とする九州内（佐賀・長崎・熊本・大分）で受入があり、全体の9割を占める。

導入	実施	クロージング
<ul style="list-style-type: none">・ 経営トップからの理念・ 創業期の話・ 学生への期待発信	<p>各現場にて</p> <ul style="list-style-type: none">・ 営業同行・ 事務補助・ 電話、接客対応・ 従業員からの体験談	<ul style="list-style-type: none">・ 振り返り・ 企画提案のプレゼン

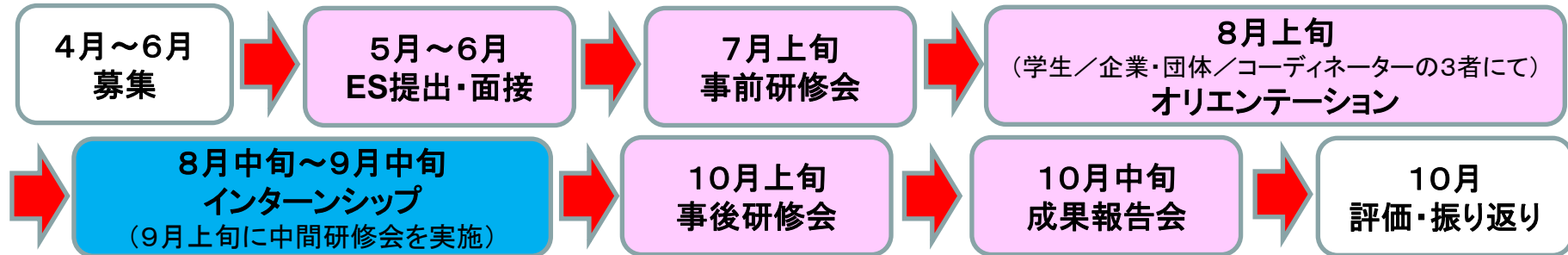


実践例 [2] 中期実践型

4～7週間の中期実践型インターンシップ

『通常型インターンシップ』では取り組むことの出来ない企業・団体の業務推進や課題解決、新規事業の立ち上げや社内変革プロジェクト等に深く関わることが出来る中期(春季休暇中6～7週間/夏季休暇期中4～5週間)の『実践型インターンシップ』。『コーディネーター(専門人材)』がプロジェクトの設計から実施中のフォローまで全てに関わる。

＜実施スケジュール＞ (平成28年度夏季の場合:10社のプロジェクトを設計)



＜実施例＞ (お弁当・惣菜の製造・販売)

【実施期間】平成27年2/16～3/28(6週間)

【テーマ】新商品の企画・開発

【実施内容】新店舗における市場調査/同業他社の調査/新商品企画・開発(プレゼン・試食会の実施、模擬販売の実施)/チラシ・POPの作成/販売促進/店舗実習(調理・接客・販売) など

【プロジェクト成果】新商品(お弁当)の完成と130個の販売/周辺へのPR活動による新規顧客の獲得



【参加学生の声】様々なことに気づき、学びがあった。1つ目は自分で考えて動く力の重要性です。2つ目は自己分析の深まりです。本当に大変で挫折してしまいそうになることがありましたが、そこから私は物事を継続して行うことが苦手だと気づくことが出来、今後の学生生活では継続力を培っていきたいと思いました。学生のうちに社会に飛び込んでみて本当に良かったです。

【経営者の声】学生の視点・意見は新鮮で今までにない新商品の開発と販売促進活動が出来た。また、自社と仕事の魅力や情報の発信が出来た。

【受入担当者の声】新店舗開店の忙しさの中、やりたいけど出来ていなかったことを学生達がやってくれて助かった。また、学生達の商品がよく売れて、店舗の社員にも良い刺激となった。

実践例 [3] ちくごインターンシップ

特定地域の自治体と連携したインターンシップ

※(筑後田園都市推進評議会(福岡県と筑後12市町)と協同で実施

「通常型」「中期実践型」「地域密着型」の3パターンで実施

(平成28年夏季:26の企業・団体で約100名枠の受入体制の構築)

地域密着型

インターンシップ(就業体験)だけでなく『ちくご』での衣食住も体験。
プログラムに応じて宿泊施設の提供有り。

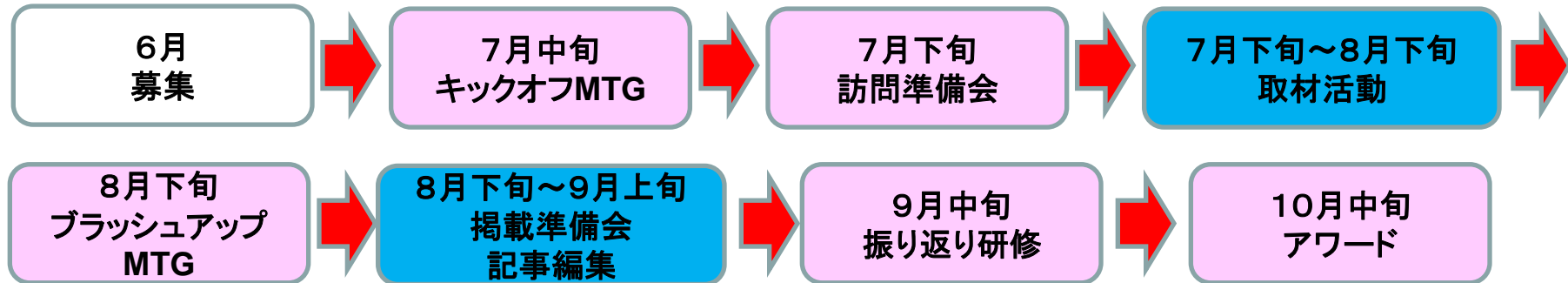
受入先	内容
うきは市	<ul style="list-style-type: none">・うきはを支える経営者の声を聞きながらのフィールドワーク。・生産現場から末端の流通までについて、現状や仕組み、仕掛けを学び、「うきは×しごと×わたし」をテーマとし提案。
八女市 (うなぎの寝床)	福岡南部筑後地方のものづくりを中心に紹介するアンテナショップ。通販・卸・イベント企画・デザインなど複合的な仕事について学ぶ。交流プログラムを期間中2~3回開催予定で、町並みの保存・再生・活用等の活動をされている方々や、市の職員等との懇談・交流を設け、まちづくりなどについて情報交換の場を予定。



キャリアスコーププロジェクトプロジェクト(受入先:福岡中小企業経営者協会)

地場中小企業へのインタビュー(取材)と記事作成をインターンシップを活用して学生が行う。企業の隠れた魅力や経営者の生き様など学生が深堀し、Webサイト(CREREA)や、SNSを活用し、情報発信・拡散を行う。取材活動はチーム制で行い、社会人メンター(ボランティア)が指導を行う。年間50~100名の受入体制構築。

<実施スケジュール>



※取材内容の例

- ①社長取材(起業のきっかけや仕事への想い)
- ②社内見学や商品・サービスの説明
- ③「仕事人」取材(仕事場密着)

・九州域内広域ルール

「産業人材の育成」の施策として平成18年九州地方知事会議において決定された。長崎県が幹事県となり、各県取りまとめ機関（経済団体や県労働部局等）との連携で受入先の情報共有体制をつくり実施。

■平成26年度 各県の県外へ派遣した学生数

	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	山口	計
計	56	18	21	13	7	10	13	7	3	148

※データ:長崎県インターンシップ推進協議会提供

・九州域外

問い合わせがあった場合のみ対応。加盟大学のマッチング終了後、希望の受入先について空き枠を情報提供。

今夏問い合わせ 14 大学（平成28年6月20日現在）

実施数の増加(量の増大)

福岡県内の学生数:約12万人 ⇔ 平成27年インターンシップ参加者:約1,100名
→増大の余地あり

実践型インターンシップ(質の向上)

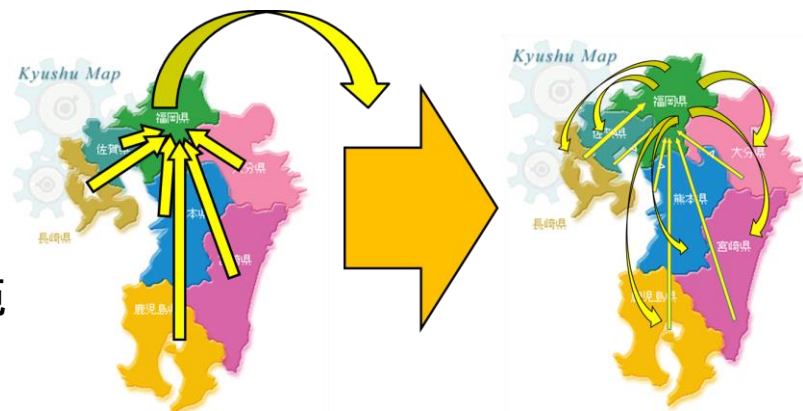
産業界ニーズにも対応し、より教育効果の高いインターンシップを拡大
専門人材(コーディネーター)の育成と拡充

国際インターンシップ

海外派遣型インターンシップ、留学生の受入等
⇒韓国の高校生、大学生、香港の短期大学生の受入実施など
⇒九州在留学生の受入の実施

九州全域への展開(広域化)

自治体との連携
地域魅力発信型インターンシップの実施



人材が首都圏や関西圏へ流出

福岡に出てきた若者にもう一度
地元に戻り目を向けさせる

九州インターンシップ推進協議会

担当：齊藤／元太もとだ／安田

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前2-9-28

会議所ビル1F (AIE-九州内)

電話：092-451-8610

FAX：092-451-8612

Web：<http://www.q-internship.com>